

及ぶ。其中沙島の長さ最も大るは阿克蘇にて、約二十五里あり、次を喀什噶爾とし、約二十里、最小なるを庫爾勒沙島の二里半とす。

都會と城廓

都會の地には、必ず支那一流の方形土城あり。敢て地形を相して築城せしものにあらざれば、戰術上の價值甚だ少なく、城と稱せんよりは、寧ろ圍壁と謂ふを適當とすべし。城内は諸官衙、兵營、堂廟等を以て充たされ、商店少なきを常とせり。市街の大部は城外に在りて、南關、東關等は最も繁盛の區とす。南路に於ける稍、大なる都府に至りては、漢城、回城の二城廓に分ち、此の二城廓は、往々相距る二里餘に及ぶもの有り。

部落と家屋

又各部落に在りては、一戸毎に土壁を以て圍み、高さ丈餘、厚さ一米突以内、多少の抵抗力を有するもの、是れ防風防寒並に盜難防禦の用に供ふるなり。是等各部落は概して大道に沿ふて延長し、横幅廣きは稀なりとす。故に道路に正交せる村端は一般に狹正面を成せり。建築物は粗雜を極め堅牢と麗雅とは容易に求むべからず。

部落の存在せる處必ず大小無數の溝渠を、縱横に布設せざるは無く、其兩側には